

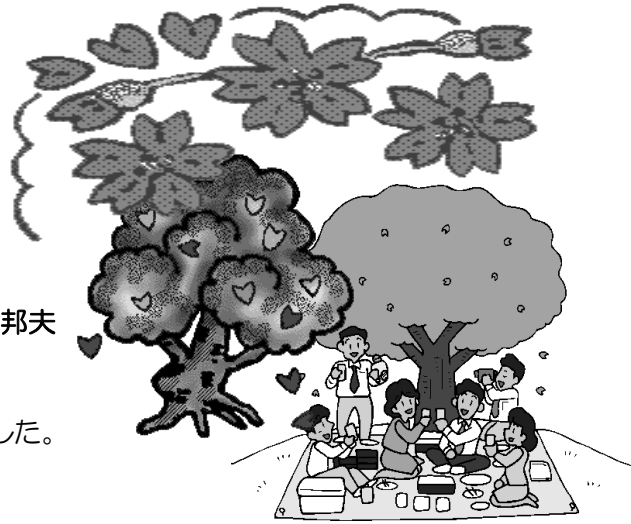
ほのぼの新聞〈2021年4月号〉

作成：田中 聡

第279回3月例会：2021令和3年3月13日(土)17:00～20:00

場所：中区地域福祉センター5階・小議室、参加者：15名

司会：赤木 加奈、開会挨拶：相田 ホチカ、閉会挨拶：末長 邦夫



①『ほのぼのバリアフリー絵画教室』の報告：赤崎 帯子

本日午後から開催し、赤木 加奈さんと私の二人が参加しました。

②『盲導犬寄贈基金 自動販売機設置』の報告：赤崎 帯子

一方通行が明示された、車で行く場合の地図はうまく出来上がりましたが、徒歩で行く場合のバス停や電停があった方がよいとのご意見から、これらを追記する事になりました。

③『ワールドフェスタ』の報告：赤崎 帯子

今年の10月17日(日)朝から夕方まで東区民文化センター大ホールでの開催が決まりました。今年のワールドフェスタ実行委員長に会員の赤崎 大(赤崎 帯子さんの旦那様)さんが決まりました。チラシができましたら配布します。

④『ほのぼのバリアフリーゲストハウス世羅』の構想：渡辺 学文

4月末～5月初旬に竹の子狩りができそうですがイノシシ害があるかも知れません。行ってみないと状況が分からないので、関係者数人で調査に行く事で決まり、4月例会で詳細を決める事になりました。

⑤『ほのぼのバリアフリー花見会』の構想：司会者

今年は中止する事で決まりました。

⑦『ほのぼのバリアフリー野球観戦』の構想：司会者

現在、観客半数入場で開催されていますが、障がい者スペースについての入場の可否については調査中ですが、まだ分かっていません。可能な限り観戦ができるように努力してもらう事になりました。

⑧『ほのぼのバリアフリー潮干狩り』の構想：司会者

今年は止めておく事で決まりました。

⑨『ほのぼの おたすけ隊：勉強会』【夜間の救急患者への対応(体験談)】：江崎 洋

先月末の夜間に妻がひどい腹痛で救急車を呼ぶ状況になりましたが、サイレンの音でご近所に迷惑を掛けたくないとの事から自家用車で病院に行く事になりました。ところが、どこの病院に行けば良いかが分からず廿日市市の救急センターに問い合わせたところ、広島市内の種村病院と市民病院があるが、種村病院にはMRIが無いので市民病院を勧められました。そこで市民病院に行きましたが、ひどく待たされ、その間嘔吐があったり痛がったりで大変でした。その後薬をもらうにも時間が掛かりましたが、ストレス性の急性胃腸炎で重大な病気では無い事が分かり一安心しました。後で分かった事ですが、救急時の電話問い合わせは、スマホで#119または082-246-2000が良いと分かりました。

⑩『ほのぼの おたすけ隊』の構想：竹原 茜(2月例会の転記)

奇数月の例会で15分程度の勉強会を開催する事で決まりました。3月は『テーピング講座：竹原 茜さん』、5月は『熱中症と火傷講座：江崎 洋さん』。その後は以下の、皆さんからの要望テーマ等を参考にして考える事になりました。

①AEDの扱い方、②マダニ害対策、③スズメバチ害対策、④蛇害対策、⑤アウトドアでの注意事項と対策、⑥デイサービスの上手な利用法、⑦油火災の対処法、⑧足のツリ対策、⑨歯ぎしりの防ぎ方、⑩イビキの防ぎ方、⑪睡眠時無呼吸症候群の対処法、⑫脱水症の対処法、⑬酔っ払いの介護法、⑭骨折の応急処置。講師は班員に限らず、会員からでも外部からでも構いません。適切なテーマと講師を選んで、できれば半年位前には決めて、案内する事になりました。

★次回4月10日(土)の、司会進行：井上 一美さん、開会挨拶：最初に来た人、閉会挨拶：最後に来た人